

コール依存症患者の治療に貢献することを期待すると同時に、われわれも日頃から節度ある適度な飲酒を心掛けたい。

□主な心理社会的治療

・認知行動療法

これまでの飲酒に対する考え方や捉え方を患者さん自身が検討し、考え方や捉え方を変えることで自分の行動や感情、生活の改善を促す。

・集団精神療法

複数の患者さんが集まり、飲酒を中心とした様々なテーマで話し合いをすることで互いに良い影響を与える。飲酒問題を整理することから始め、徐々に飲酒に対する適切な考え方を身に付けていく。

・動機付け面接法

治療への動機づけを高めるための技法。患者さんの「飲酒問題を改善したい」という気持ちを強化し、行動の変化を促す。

・家族療法

患者さん自身の回復だけではなく家族の回復も目指す。アルコール依存症の正しい理解や回復のプロセスを理解し、適切な対処を身につける。家族支援が適切に行われることにより患者さんの回復につながる。

□アルコール20gあたりのお酒の種類と量

- ・ビール 中瓶1本 (500m L)
- ・ワイン グラス2杯 (200m L)
- ・日本酒 1合 (180m L)

参考資料

- ・樋口進, 齋藤利和, 湯本洋介: 新アルコール・薬物使用障害の診断治療ガイドライン
- ・大塚製薬株式会社: セリンクロ® 錠10mg インタビューフォーム (第1版)

(日本赤十字社医療センター薬剤部

田尻 優吏亜)

「頭が良くなる薬」 個人による輸入が規制へ

「頭が良くなる薬」、こんな夢のような名前と呼ばれる製品が販売されているのをご存知でしょうか？

「集中力を高める」や「頭がスッキリする」など、脳の機能等を高めることを標ぼうして海外で販売されている医薬品やサプリメント等の食品の総称を

“スマートドラッグ”と呼び、国内販売だけではなく、インターネットを介し、海外製品の個人輸入が行われてきた。スマートドラッグは、広義ではサプリメントや健康食品を含み、現在でも多数の製品が販売されており、購入可能である。

しかし、スマートドラッグの一部は、国内外で医療用医薬品として使用されている（または使用されていた）成分を含有するが、大部分は適応も含めて国内で未承認の医薬品であり、その品質・有効性・安全性は確認されていない。また、保護者が児童・生徒に服用させる事例があると報道されており、児童・生徒における心身の正常な発達を妨げ、継続的な乱用や他の薬物への乱用に繋がるおそれがある。そして、個人輸入による健康被害が国民生活センターへ報告されているなど、多くの問題点を有するものである。

こうした状況の中、厚生労働省は、インターネット上の日本人向けの海外販売サイトで販売されている製品が標ぼうしている効能・効果や含有成分の名称の分析を行い、脳の機能等を高めることを標ぼうして販売されていた製品（約60品目）をピックアップした。次に、これらの製品の薬理作用や医薬品等として用いた時に生じる副作用の情報等を基に、薬物依存等に関する研究を行っている日本アルコール・アディクション医学会の専門家による精査を踏まえて、個人輸入における取扱いを見直すべき品目として27成分を選定し、第3回厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会（平成29年11月）で報告した¹⁾。最終的に、パブリックコメントの結果等を踏まえ、医師の処方箋又は指示によらない個人の自己使用によって健康被害や乱用につながるおそれが高いと考えられる25成分（表）について、原則として数量に関わらず予め薬監証明の交付を受けない限り一般の個人による輸入は認めないという通知を発出し、平成31年1月1日から施行された²⁾。

厚生労働省は、定期的に、脳の機能等を高めることを標ぼうして販売されている品目の調査を行い、健康被害や乱用につながるおそれが高いと考えられる品目については、順次、同様の措置を行っていき、私たちが薬剤師も、今後も注意深く確認していく必要がある。

(日本大学病院 薬剤部 佐々木祐樹)

【参考資料】

- 1) 第3回医薬品医療機器制度部会・参考資料 8-1, 8
- 2 (平成29年11月15日)
- 2) 薬生監麻発1126第3号「脳機能の向上等を標ぼうする
医薬品等を個人輸入する場合の取扱いについて」(平成
30年11月26日)

表. 海外で販売されている医薬品や食品等に含有されている場合、当該製品の輸入に際し、数量に関わらず厚生労働省の
確認を必要とする成分

和名	英名	国内販売名 () は販売中止	備考
アテノロール	Atenolol	テノーミン	医薬品成分 (心臓選択性β遮断剤)
アトモキセチン	Atomoxetine	ストラテラ	ADHD 治療薬の一つ
アドラフィニル	Adrafinil		主要代謝物のモダフィニルは医薬品 (ナルコレプシー治療剤「モディオダール」) として使用
アニラセタム	Aniracetam	(ドラガノン)	国内で医薬品 (脳代謝改善薬) として使用されていた成分
エチラセタム	Etiracetam		国内で医薬品として販売されているレベチラセタム (販売名「イーケブラ錠」) のラセミ体
オキシラセタム	Oxiracetam		ラセタム系化合物の一種であり、ピラセタムに類似した作用が予想される
ジヒドロエルゴトキシン メシル酸塩	Dihydroergotoxine Mesilate	ヒデルギン (バソラックス)	医薬品成分 (循環改善薬)
ソマトロピン (遺伝子組換え)	Somatropin	グロウジェクト	医薬品成分 (ヒト成長ホルモン製剤)
タンニン酸 バソプレシン	Vasopressin Tannate		バソプレシンは国内で医薬品 (脳下垂体後葉ホルモン剤「ピトレシン注射液」) として使用
チアネプチン	Tianeptine		海外で医薬品 (抗うつ薬) として販売
デスマプレシン 酢酸塩水和物	Desmopressin Acetate Hydrate	ミニリンメルト	医薬品成分 (抗利尿ホルモン用剤)
デヒドロエピアン ドロステロン	(略称) DHEA		プロゲステロンやテストステロンなどの生成に関わるプロホルモンであり、長期服用による生体への影響が大きいと考えられる。
ナドロール	Nadolol	ナディック	医薬品成分 (β受容体遮断薬)
ニセルゴリン	Nicergoline	サアミオン	医薬品成分 (脳循環・代謝改善剤)
ニモジピン	Nimodipine		海外で医薬品 (カルシウムチャンネル遮断薬) として販売
ネフィラセタム	Nefiracetam		ラセタム系化合物の一種であり、ピラセタムに類似した作用が予想される
ビンボセチン	Vinpocetine	(カラン)	国内で医薬品 (脳循環改善薬) として使用されていた
ピラセタム	Piracetam	ミオカーム	海外で主に流通しているのはカプセル剤。国内の内服液 (医薬品) は一部でんかん患者における不随意運動の治療に用いられている
フロセミド	Furosemide	ラシックス	医薬品成分 (利尿降圧剤)
ブロモクリプチン メシル酸塩	Bromocriptine Mesilate	パーロデル	医薬品成分 (持続性ドパミン作動薬)
プラミラセタム	Pramiracetam		ラセタム系化合物の一種であり、ピラセタムに類似した作用が予想される
プレグネノロン	Pregnenolone		DHEA の前駆体であり、プロホルモンである。長期服用による生体への影響が大きいと考えられる。
プロカイン塩酸塩 (外用剤を除く)	Procaine Hydrochloride	塩酸プロカイン	医薬品成分 (局所麻酔剤)。国内では、外用剤が一般用医薬品として承認されている
プロプラノール塩酸塩	Propranolol Hydrochloride	インデラル	医薬品成分 (交感神経β受容体遮断薬)
レベチラセラム	Levetiracetam	イーケブラ	抗てんかん薬の一つ